

財務ハイライト 2006年度決算

平成18年4月1日～
平成19年3月31日

損益計算書

単位:千円

科目	06決算		06予算		科目
I 経常収入の部					
1 IT事業	40,702	40,702	18,000	18,000	226%
2 サポーター事業					
会費収入	3,254		4,489		
寄附金収入	7,603		4,700		
民間助成金	1,741		3,700		
その他	1,167	13,765	930	13,819	100%
3 スタディツアー事業	3,183	3,183	1,900	1,900	168%
4 コミュニティファクトリー事業	198	198	0	0	-
5 その他(利息/為替差益)	185	185	0	0	-
経常収入合計		58,033		33,719	172%
II 経常支出の部					
1 IT事業	22,242	22,242	12,658	12,658	176%
2 サポーター事業	1,895	1,895	2,208	2,208	86%
3 スタディツアー事業	2,083	2,083	700	700	298%
4 日本事務局	8,970	8,970	7,590	7,590	118%
5 カンボジア事務局	5,907	5,907	6,415	6,415	92%
6 PCスクール事業	1,202	1,202	518	518	232%
7 コミュニティファクトリー事業	5,217	5,217	2,334	2,334	224%
8 その他(雑損失/為替差損)	237	237	0	0	-
経常支出合計		47,753		32,423	147%
経常収支差額		10,280		1,296	793%
III その他資金収入の部					
1 その他の事業会計繰入金収入	0	0	0	0	0
IV その他の資金支出の部					
1 法人税など	789	789	825	825	
その他資金収支差額		789		825	96%
当期収支差額		9,491		471	2015%
前期繰越収支差額		4,710			
次期繰越収支差額		14,201			

貸借対照表

単位:千円

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			I 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	913		短期借入金	0	
普通預金	11,127		未払金	6,206	
売掛金	8,355		未払法人税等	789	
立替金	208		預り金	125	
流動資産合計		20,603	仮受金	0	
2 固定資産			流動負債合計		7,120
建物	0		III 正味財産の部		
車両運搬具	719		資本金	500	
土地	0		前期繰越正味財産	4,210	
固定資産合計		719	当期末処分損益	9,491	
資産合計		21,322	正味財産合計		14,201
			負債および正味財産合計		21,321

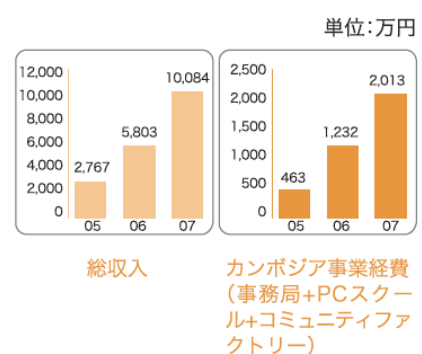
07年度予算

単位:千円

科目	07予算		06決算	増減率	
I 経常収入の部					
1 IT事業	68,640	68,640	40,702	169%	
2 サポーター事業					
会費収入	4,000				
寄付金収入	6,000				
助成金収入	3,000				
その他収入	1,000	14,000	13,765	102%	
3 スタディツアー事業	3,000	3,000	3,183	94%	
4 コミュニティファクトリー事業	1,000	1,000	198	505%	
5 その他(利息/為替差益)	0	0	185	-	
当期収入合計(A)			86,640	58,033	149%
前期繰越金(B)				14,201	
収入合計(C=A+B)				100,841	
II 経常支出の部					
1 IT事業	38,774	38,774	22,242	174%	
2 サポーター事業	6,304	6,304	1,895	333%	
3 スタディツアー事業	2,080	2,080	2,083	100%	
4 日本事務局	11,273	11,273	8,970	126%	
5 カンボジア事務局	11,724	11,724	5,907	198%	
6 PCスクール事業	1,837	1,837	1,202	153%	
7 コミュニティファクトリー事業	6,575	6,575	5,217	126%	
8 その他(雑損失/為替差損)	0	0	237	-	
当期支出合計(D)			78,567	47,753	165%
当期収支(A-D)			8,073	10,280	79%
最終(C-D)			22,274		

財務に関する分析

- 06年度収入規模は、IT事業の好調ゆえ05年度比2倍となりました。その結果としてカンボジアでの事業規模も順調に拡大しました。07年度はIT事業を成長させるとともに、収入のもう一つの柱であるサポーター事業を強化してまいります。
- カンボジアでの事業規模は05年度比3倍になっています。これは、コミュニティファクトリー事業をスタートさせたためです。これにより06年07年にノウハウを蓄積し、07年度後半から受益者数を100人規模へと展開する予定です。
- カンボジア/日本組織ともに組織基盤を強化するために、06年度に社会保険の導入、07年度に給与水準を上昇させています。



※ 1000円未満は四捨五入しているため、数字の合計が一致しません。

※ 06年度予算のSMEは06年度決算のコミュニティファクトリーに対応します。

※ 05年度の収入に関して、スタディツアー事業のうち、「売上」として計上していたものの中で、本来「預り金」として計上し、「売上」として計上するべきでないものがありましたので、これを修正しています。